





其日葺評

天満天神七月、並枝華 五竹菴撰  
 月紙 十吉お 初五の  
 尺艾 木儼  
 湖秋 燦々 孤再 廣雪 松系 沢 赤 沢 周 采 艾 雀 里 檜

天満天神七月、並枝華 五竹菴撰

天満天神七月、並枝華 五竹菴撰  
 月紙 十吉お 初五の  
 尺艾 木儼  
 湖秋 燦々 孤再 廣雪 松系 沢 赤 沢 周 采 艾 雀 里 檜









十月  
 十月 十一日 乃たくある 福隣の 走りくま  
 かろしと夜くさるるや 九月 改作  
 十月 十一日 乃たくある 福隣の 走りくま  
 かろしと夜くさるるや 九月 改作

御靈薬師午納會

五竹菴評

考一 固又 乃たくある 福隣の 走りくま  
 かろしと夜くさるるや 九月 改作  
 十月 十一日 乃たくある 福隣の 走りくま  
 かろしと夜くさるるや 九月 改作

里斗水 春斗水 玉斗水 里斗水  
 成斗水 成斗水 成斗水 成斗水  
 里斗水 里斗水 里斗水 里斗水  
 成斗水 成斗水 成斗水 成斗水













秀二 八千虎選

油  
秋の月 月 陽の光 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす

御靈薬師月並九月 五竹菴選

秀一

油  
秋の月 月 陽の光 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす  
秋の月 照らす 朝の光 照らす 秋の月 照らす 朝の光 照らす

油 二里翠

初雪 増坊維子 二真波干 庄佛事 庚子講 温石 十八日辰  
 川雲雨也 秋格 戎講 初雪  
 長きとねのおもよまてり 登 ひとら 屋鳥  
 油 糺言乃乃よまてり 糺言乃乃よまてり 糺言乃乃よまてり

十月題

十月題

天満聖廟奉額月次十月

五竹芥并選

秀一 初雪 増坊維子 二真波干 庄佛事 庚子講 温石 十八日辰  
 川雲雨也 秋格 戎講 初雪  
 長きとねのおもよまてり 登 ひとら 屋鳥  
 油 糺言乃乃よまてり 糺言乃乃よまてり 糺言乃乃よまてり

花農 惠也 芥全 菊伍 友石 菊伍 百濟 百嬰 六也 六竹 吐雲 東也 惠水 泉也







秀一

社へりら白さ飯喰ふ浦の家  
 幸傳も止りたりこのそこれ  
 南くは花吹雪をいれぬ  
 脚かくさるる一息の情をいれぬ  
 初録の友の情をいれぬ  
 鬱のゆき白と濡るこころれ  
 鬱のゆき白と濡るこころれ  
 戸のゆき白と濡るこころれ  
 梢のゆき白と濡るこころれ  
 雪のゆき白と濡るこころれ  
 七浦の眠るも情をいれぬ  
 秀晴のゆき白と濡るこころれ

芝蔴 羅漢水 花露水 玉露 飄々 也々 貴々 梅郷 百度 太柏 里友 芝蔴 百箇 化苗 古楽 菊伍 羅文 化苗 左及 冬江 百箇 本僿

鏡三

油

能を校る秀ねえりくみの月

御雲薬師月次十月

秀一

月より月々目さるる南  
 里社も世話やうなる南  
 里社も世話やうなる南  
 里社も世話やうなる南  
 里社も世話やうなる南  
 里社も世話やうなる南  
 里社も世話やうなる南  
 里社も世話やうなる南  
 里社も世話やうなる南  
 里社も世話やうなる南

五竹并選

南 羅文 芝蔴 友石 飛石 友石 孤竹 芦江 呼春 藤羅 呼春

秀一

乃とくし... 八千房選

油

正月頭

駒杖

初共兵

のの

泊連の内

香嘯

給ふそ

天満聖廟奉額月次十二月

五竹筭評

秀一

梅標... 化指地芝倭其五湖化里霞金其羅吐羅松南歌其霞林玉

油













をい  
ハチ屋  
...

...

五月歌

田花  
...

額上八十五句

天満宮四月々次

五竹芥昇評

抽

秀一  
人傍て日わよとる  
...

竹伍母  
...









秀一贊

贊

秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり

羅文 苗郷 打吹 嵐吹 月弓 都打 芝雪 湖雪 竹母 竹母 太女 玉水 玉水 我水 玉水 月水 化水 生水 化水 蘭水 何水 圭水 竺水

九月歌

草浮元 廿五日 慈極 百集之 九月

秀一贊

秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり

秀一贊

### 葉 山 中 九 月 之 風 立 亦 蔭 色

き首

菊合とこころし 出さして 花のし  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり  
秋の暮す人山あり川あり

羅文 苗郷 打吹 嵐吹 月弓 都打 芝雪 湖雪 竹母 竹母 太女 玉水 玉水 我水 玉水 月水 化水 生水 化水 蘭水 何水 圭水 竺水







夕名の下あうれりるの汁 ミシラ 苗佳美  
一志しり名ニくくさくも存ふ 萬田村 遠之  
梅まはると四月もさくさくもさく 古来  
甲しりやましり さく 中の家 西茶  
白あまん おの 生車一日 月三廿 呂碩  
あしり ひ さらふ ひ りるに 扇 ハサ、 龜才  
さしり さ のね 獄 さ ろ さ ち 籍 さ 子 西六寺 吉村  
涼 さ し さ 子 息 の あ し いて 青 さ ら ん  
燒 さ ー の 大 と ら さ ら ひ たり 四、 子 相 サヒキ 些 曉  
因 古 ち 日 高 を 基 し る も 石 乞 ー ヨナコ 鬼 文

五作 爲 ハナ 加 カ 入 入 考 考 日 日 要 要 文 文

鳴 あ ー さ と と 浮 て も 居 ら ぬ ん 中 ハ 蛙 ヒキ 友 水  
瘦 ま 珍 ず 手 お 考 考 ろ り て 虎 ノ 子 カ 子 モ 尺 棟  
か さ ら さ ら さ 眼 さ ー さ ら の 丸 丸 親 の 糸 糸、 好 古  
さ さ ー さ や そ の さ 糸 の ー さ ら り 開 業 枝  
酒 ま の 故 さ ー さ ら り けて 這 入 ら り 百 度  
鳴 あ ー さ と と 懸 さ へ 啼 ぬ ー 化 西 川 柯 哇  
焼 さ ー さ 白 控 して 人 人 四 月 子 子 三 日 田 玉 来  
負 女 の 世 身 本 と ら さ ー さ ら り 勿 ろ ら り 亞 茶  
給 さ ー さ 四 角 糸 糸 丸 丸 ー ゆ ー 里 光  
漏 す ら り 運 ら ー さ ー さ ー さ ー さ ー さ ー さ ー

ぬま色の至念よりつく夕日中ノ原春乐

卯の毒よりつらつらなる母おか 柯性

昔折る子葉よりこまの 恒雄

あゝまはなめとまの辰あり 三才

白はえ舞々しふおひつたたり 八亦

蝶々の歌もさあさ 四日く井 伯州 梅露

まゝしてあゝあゝは葛のうね 大井 笛さ

けしのおちるよすてゆめ 宅原 也来

拭く癖は女の友や舟ぬ人 拾子

うた雲の尻を焦してまあ 写真

くりたふよりくろくろくろく 嵯峨の物 羅文

天倉よりいしふより 至念のま 亞来

もふ箱のつらとあはれは カラツ 八五五

傘さすの息せれば ちや 治文

急ぎ急ぎとまはる 白ひくろく ちや 瑞鳥

夕舟り蚊とやと唇う 庄口より 三才 烏江

抽のまのやまはけしけしこの花より 非兒

りけ補やおしとあはれとまのまは 扇蝶

あゝゝゝとち歌捨てとくろくろく ちや 伍尺

里徳水の山々 年々  
里徳水の山々 年々  
里徳水の山々 年々  
里徳水の山々 年々  
里徳水の山々 年々  
里徳水の山々 年々  
里徳水の山々 年々  
里徳水の山々 年々  
里徳水の山々 年々  
里徳水の山々 年々

藤のよきやうしきもおぼえれ 尺椽  
舟のよきやうしきもおぼえれ 百反  
連朝の雪もあはれり 范六  
口吹く雪もあはれり 希母  
珍きしもさき頃の十日り 命あり 一洞  
おぼえれぬも知らぬ 岡古も 老徴  
とあるもたし 指すもあはれり 他石  
ふこめの雪もあはれり 松のけ 光暁  
あはれぬもあはれり 風もあはれり 蘭峰  
美咲く雪もあはれり 鳥もあはれり 友水

九山洋

おぼえれぬもあはれり 松のけ 光暁  
あはれぬもあはれり 風もあはれり 蘭峰  
美咲く雪もあはれり 鳥もあはれり 友水

筆末の日記もありて  
 初裕系てまうつて  
 眉つわて成るぬまの  
 橋やうささふぬ  
 馳めもて存きいぬ馬  
 めまゆふまの流つ  
 牧さふぬ吹くけて  
 鶴鳴く福ち喜する  
 酒桶とてうつふさ  
 かまらぬぬれぬ  
 伯 三サキ  
 湖木  
 菊伍  
 駿棟 偽要  
 其一 サニ  
 其葉 ヨナ  
 映門 小ね  
 写丹  
 八糸  
 己先 今井  
 亞来 ヨナ

うらみゆきとちて  
 うらみゆきとちて  
 柚の葉いふ  
 桔梗  
 瑞光  
 美花  
 佐田  
 藤切  
 大坂  
 兵して  
 中  
 風  
 風  
 山子  
 羅文  
 亞多  
 化笛  
 寫丹  
 三顧  
 赤母  
 山子  
 羅文  
 亞多  
 化笛  
 寫丹  
 三顧  
 赤母  
 山子



珍しきことごとくしてふらぬ破れもあ  
 せしむて岩隙ふかきぬく霧さし  
 雲さしけりてけりけり しりせ  
 赤く赤く赤の遠きも雨にふ  
 さしきしものさかき出さるる松葉  
 緑のゆへ人さつけりけりお赤子  
 夏まよふ影をたすせし藤のり 西大寺  
 情りあけの袖も経し藤より舟  
 辰ききり柳さしものる思ふ舟  
 三つししとせぬも思ぬ松のせ  
 舟舟  
 二舟  
 橋舟  
 他石  
 里光  
 湖水  
 里光  
 瓢々  
 丹江  
 吐雲

まる舟のいふと清くもおね子  
 念ふの甲のさしきぬれき嵐  
 影のさしきぬれきぬれき嵐  
 けり燈の釣ききぬれきぬれき嵐  
 かさかききぬれきぬれきぬれき嵐  
 唇さしきぬれきぬれきぬれき嵐  
 山ちゆ 藤をさしきぬれきぬれき嵐  
 夕とれや 政子の井のありき嵐  
 赤の兒や 赤おとせきぬれきぬれき嵐  
 美女子 年寄しきぬれきぬれき嵐  
 蹄舟  
 瓢々  
 壺山  
 丹尺  
 子剛  
 瓢風  
 五橋  
 於舟  
 湖水  
 山子  
 筆と

閑古きいつも終ぬそありし  
ヨ十三  
九馬

さししと木柙ささるるあけりり  
舟府

日さしりり月さしりり風の色  
舟母

ぬるさのさゆしてあさり  
兎洲

あさりささるるささるる  
舟母

あさりささるるささるる  
写身

あさりささるるささるる  
舟府

あさりささるるささるる  
柯哇

あさりささるるささるる  
李杏

あさりささるるささるる  
林糸

あさりささるるささるる  
二乐

抽

福末降

馬の井戸ささるるささるる  
馬のささるるささるる

高院

# 文化九年

申ノ書

